

(第3回)『神保原駅北まちづくり基本構想(案)』 住民説明・意見交換会  
意見交換概要

開催日時	令和4年2月3日(木) 午後3時30分～午後5時00分	開催場所	神保原公民館 2階 ふれあいホール
対象	三丁目にお住まいの方	出席人数	9名
事務局	上里町まち整備課都市整備係		

協議内容

- 1. 開会
- 2. 山下町長あいさつ
- 3. 上里町職員紹介
- 4. 本日のスケジュール・配布資料の確認

—配布資料—

- ・ 次第
- ・【資料1】神保原駅北まちづくり基本構想(案)
- ・【資料2】今後のスケジュールについて
- ・広報2月号「住民説明・意見交換会について」の配布チラシ

■ 5. 【説明】

「神保原駅北まちづくり基本構想(案)」・「今後のスケジュールについて」  
事務局より説明

～約20分程度～

■ 6. 【意見交換会】P.2以降より掲載

■ 7. 閉会

(ご質問：住民)

・まちづくり基本構想(案)の三丁目の「まちなかふれあいゾーン」は、駅前通りを拡げる計画や川の流れを活かしながらのふれあいゾーン、商業や企業誘致などいくつかの要素が振り分けされておりますが、その要素が重複してしまっている様に思えたのですが、駅通りの川沿いのエリアは、実際にどのような活用を考えていますか。具体的に公園や商業施設、医療施設等、どの様に活用する場所になるのかよく分からなかったのですが、現在、町ではどこまでをどの様に考えているのでしょうか。

① (回答：事務局)

・各ゾーン全てに言えることですが、今回ご説明させていただいた「まちづくり基本構想(案)」でゾーニングをさせていただき、そのゾーンごとにどのような方向性でまちづくりを進めていくかをお示しさせていただいたものになります。各ゾーンの方策、イメージはお示しさせていただきましたが、このような方向性で進めていきたいと思います。町民の皆様にご理解いただければ、その方向性を以て、来年度は具体的に何を整備するか検討をしていきたいと思っております。現時点では、各ゾーンに何を整備するかという所まではお示し出来ていないのですが、来年度以降、町民の皆様と一緒に決定していきたいと思っております。

(ご意見：住民)

②

・私は議員として、全員協議会や都市計画審議会等々で、今お話しいただいたことは何度も聞いております。事業を実施することは大賛成で、住民の皆様へのアンケート調査結果で86.6%共感をいただいた中で、全体的な構想はどんどん進めてもらいたいです。

・県道のクランク交差点は駅通りの一番のガンなので、そういう所を町が具体的に早く直してもらいたいです。以前、町長にも言いましたが、町が先行取得をして、大規模な土地が空いているのだから代替地を用意するように動いて欲しいです。総論賛成、各論反対になったのだから、もう少し町が具体的に動いて欲しいと思います。

・千葉県八街市は死亡事故があつてから、菅前総理大臣まで来てガードレールを設置していましたがそれでは遅いと思います。上里町でもこの50年、60年で駅通りから学校に行くまでに3人亡くなっています。そういう過去を踏まえて、今一番大事なものは何か、とにかくクランク交差点を直すことが最大の課題なのです。今何が必要なのかをもう少し町も真剣に考えて、県に提案してもらいたいです。

・町が家の代替地を早く用意し、移転できる場所を設けて、県道なので勝手に町が整備する訳にはいかないと思いますが、卓上の協議や審議ばかりではなく実際に行動してください。行動している形を見せなければ住民は総論賛成各論反対が出て当然の話です。整備によって土地が半分取られてしまうのに代替地がなくてどこに行くのですか。私は絶対に反対していました。自分の家が半分になって住めるような状態ではなくなくなっては黙ってはいられません。

・総論賛成各論反対にならないように、早く町が県道整備に掛かる土地の家の横の空き地2、3箇所を代替地として先行取得して、いつでも移転できるようにして、道路を拡幅して延長するといった具体的なことを始めてください。

・私に言わせれば、まちづくり基本構想(案)は結構な話、絵に描いた餅。もう実際に行動に起こさなくては駄目です。

・近所の方から「東側の土地が空いているから良いね」と言われていますが、「ここで生まれ育ったのだから他の場所に行くのは嫌だ」と言っている人もいます。「今は駅まで

<p>②</p>	<p>4、5分の所に住んでいるのに、宮本町や忍保町に移されてはたまったもんじゃない」という意見を何件も聞いております。特に旧中山道から国道の間には6軒しか家がなく、そのうちの1軒は既に住んでいないので、町も土地開発公社を持っていてある程度お金があるのだからととりあえず借りて、そういうことを早く実施して、卓上の議論・協議よりも実際に動いて欲しいと思います。ある程度先が見えてきたら、地権者に引っ越してもらえるような状態を町がつくらなければいけないと思います。地元のことは町が一番よく知っているので、ぜひ真剣に考えてもらいたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅通りに住んでいる方の平均年齢は65歳以上で、まちづくり協議会に参加されている委員も大変な人もいます。もっと真剣に物事をやってもらわなければ困ります。</li> <li>・町長には申し訳ないことを言って悪いですが、もうみんなお年寄りばかりで先がありません。ここ5、6年以内に何とか道路を拓げる方向性をつけて欲しいと思います。</li> </ul> <p><b>(回答：町長)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど開催した二丁目の意見交換会でも同様のご意見をいただきまして、やはり今住んでいる地権者のご希望をお聞きして、どのような方法があるか検討していきたいと思います。また、駅周辺に住み続けたい等の皆様のお気持ちを組み込む形で、空いている土地の地権者と移転候補者をマッチングや土地開発公社がありますが、国は土地開発公社の土地の先行取得の役割は右肩上がりの時もありましたが、これからはいらぬのではないかとということもございませう。上里町はまだ土地開発公社もありますので、先行取得やそのほかの手法を含めて、どの選択肢が良いか研究してまいります。</li> <li>・二丁目の意見交換会でも籠原駅北口は非常にきれいになって、大型バスが乗り入れるようになったというお話をお聞きしました。高崎線沿線で開発が出来ていない、また大型車が乗り入れられない駅通りは神保原駅だけです、その様なことを踏まえて、県ともしっかりと協議をしながら進めていきたいと思ひます。まだ入り口の段階ではございませうが、早急に前へ進めてまいりますので、ご理解いただきたいと思ひしております。</li> </ul>
<p>③</p>	<p><b>(ご意見：住民)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常にすばらしい構想(案)でこの構想(案)もこれから練り上げてまとめていくということだと思ひます。将来像としては非常に良いことだと思ひますが、まず、子供の通学路が非常に危険な状態が今も続いております。先ほども意見がありました通り、過去に事故があったというお話もありましたが、当然(整備の)優先順位があると思ひます。将来像は将来像で素晴らしいものを想定するのは良いですが、まず、何をやらなくてはいけないのか優先順位を決めて、まず子供たちの安全を考えていただきたいと思ひしております。駅通りも通勤をしていて非常に危険を感じる場合がございます。その様なことを含めて、安全性を優先にして優先順位を決めて将来に向かって、駅北口のまちづくりを念頭に考えてもらいたいと思ひしております。全部(整備は)一緒にできる訳ではないので、これからぜひ安全性を念頭において考えていただきたいと思ひしております。</li> </ul> <p><b>(回答：町長)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二丁目の意見交換会でも同じ様に、田島電気さんから旧中山道までの間の道路が非常に狭くて危険だというご意見をいただきました。</li> <li>・区長さんをはじめ、朝夕に子供の見守りのために旗を振っていただいている姿を実際に見て、これは何とかしなければいけないなということをお先ほども話し合いをしておりました。</li> </ul>

<p>③</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県八街市で通学中の子供が犠牲になった事故については、私も認識しておりますし、町でも過去に子供のランドセルがトラックの荷台に引っ掛かり死亡事故があったと伺っております。また、国、県も通学路の安全性について強く指示が来ております。早急にガードレールの設置が出来るかどうか、ただ、センターラインもない道なのでガードレールを設置すると車のすれ違いも厳しくなるのでその辺りの安全性について、県議員も含めて至急協議するように進めていきたいと思っておりますのでご理解いただきたいと思っております。</li> </ul> <p><b>(回答：事務局)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町としても、このまちづくりの基本方針を3つ示させていただきましたが、その中でもやはり「安心・安全な場所づくり」は早急に整備していきたいと考えております。</li> <li>・先ほどより、県道の整備のお話がございましたが、県道の整備にあたり、まちづくり協議会の委員として本庄県土整備事務所の所長にもご参画いただいております。県にも整備の要望はあるものの、路線の利用者が少なく、県としても整備の優先度が低い段階であるというお話を伺っております。その中で、まちづくりと一体で整備する機運が高まってくれば、整備の優先度は必然的に上がってくるというお話も伺っておりますので、町としてもまちづくり基本構想や計画の段階で、なかなか実務、現場に入れない状況で大変申し訳ないと思っておりますが、この様なステップを踏んでいくことで、県の方も整備に取り掛かってもらえることがありますので、町としても段階を踏んで県に要望をしていきたいと考えております。</li> <li>・通学路の安全対策について、先ほど町長からもお話がありましたが、千葉県八街市の事故を受けまして、町では町道の安全管理対策は緊急に着手できるところは手を入れて、来年度から道路管理者として出来ることはやっていきたいと思っております。検討についても、勅使河原本庄線は通学路整備計画に位置付けられていますので、具体的な整備時期は県でないと分かりませんが、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画に位置付けられておりますので、県に動いていただけるものと考えております。</li> </ul> <p><b>(回答：事務局)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールについてお話させていただきます。県道の駅前通りの事業着手を早急にして欲しいという話だと思っておりますが、ステップとして、町や県が県道の整備計画の意思決定をするために都市計画の決定手続きをいたします。まずは、都市計画決定することが始まりですが、今、県が都市計画決定をする動きがあるかということ、そこまで県に響いておりません。そのため、町からクランク交差点や通学路の危険箇所があるので早急に整備して欲しいと意見交換会でいただいた声を県へ上げていきます。そこを県に受け止めていただき、次の段階に進めるような努力をしていきますのでよろしく願いいたします。</li> </ul>
<p>④</p>	<p><b>(ご意見：住民)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、事務局より都市計画決定をするのに、早くても5、6年は掛かると話を聞いて、それは良いと思いますが、県は、駅前通りからトライアル跡地まで朝早くから夜6時まで車が何台通るか確認をしていたのを犬の散歩をしながら見ておりました。通りを全て確認したのだと思いますが、神保原の駅前通りは、朝晩は送り迎えで車の通りがあるけれども、日中はガラガラです。車が通らないから県も手を付けない様な話を聞きましたが、それは逆に発想を変えて道路を直せば人通りも多くなり、店も出来ると思います。通学路で危険なクランク箇所があるから、買い物にも駅に行くにも不便なので、結局、駅の周りに家が出来なくなってしまっています。スーパーも不便だから他</li> </ul>

の所へ行ってしまふのだと思います。不便なところは県が積極的に直してくれば、駅通りは自然に復活すると思います。私から言わせれば「発想が逆転だ」と県へ強く言ってください。

- ・人口少ない、車が通らない、人通りが少ないからなかなか県も思い腰が上がらない様な考えもあると思いますが逆の話です。日本の行政は皆そうです。人が犠牲になったり死亡事故が起きたりしなければ、重たい腰を上げないのが役所の最大の敵だと思います。身を切る思いで役所も真剣になって物事を考えてもらわなければ困ります。
- ・駅通りを真っすぐにして、歩道を付けてきちんと他の町と同じ様にすれば、自然に駅北が復活すると思います。賑わいのある活性化した町は自然に出来て、企業は既に駅前通りの整備の話が出て、不動産屋が家に年中来るけれども多少は駅通りが上がってきていて、2、3年前と違います。その様なことを含めて、県もどっしりと構えてないで駅前のクランクを直すだけでも復活すると思っています。
- ・県への働きかけもおっとりしていないで、上里町でも特に神保原駅通りについては、地域のことを考えて物事をもう少し責任持って県にやってもらいたいです。よろしくお願いします。

**(回答：町長)**

④

- ・直角クランクの所ですが、神保原小学校の通りが町道なので、県議会議員から県道で延長が短いのは神保原停車場線（駅前通り）だけなので、本庄道路の接続線として県道にしてはどうかという提案もございました。町としては、県、場合によっては知事まで陳情に行けるように努力をしていきたいと思っています。直角クランクの県道は、私も上里町でしか見たことがないので、その様な問題点や交通事故で子供が犠牲になったことも含めて、今年に入って県道整備部長へも正月にご挨拶に伺っておりますが、改めてお願いに伺いたいと思います。ぜひ議会の皆様もご協力いただいて一緒に進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

**(ご意見：住民)**

- ・国道から17号バイパスまで拡げる話は、都市計画審議会でも会長からお話を聞いておりますが、そこまで繋げないと意味がないということは、国道17号から駅通りまで真っすぐになるけれども、そこから先がまたクランクになると思います。町長が言われるように、小学校と神社の所で少し曲がっても良いので、17号バイパスまで繋げることは基本的な考え方で正しいと思います。やはり一緒に整備してもらいたいと思います。駅通りからバイパスまで真っすぐ繋げていくことは、経済産業の地域発展の活性化にも多いに役立つと思います。それもぜひ一緒にお願いしたいと思っています。

**(回答：町長)**

- ・今回の都市計画マスタープランの改定で、本庄道路に繋がる道路も構想道路として図面に示させていただいております。もう一度、構想道路を格上げして本格的な県道にする様に県と交渉していきたいと思っていますので、その点をご理解いただきたいと思います。本庄道路と繋がると駅への流れも変わり交通量も増えて来ると思います。その様なことも予想されますので、県としっかり協議をしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

**(回答：事務局)**

- ・今回、まちづくりの検討を進めておりますが、その経緯についてご説明したいと思います。

平成30年8月に県道クランク箇所改良と県道の拡幅について、山下町長が地元の方

④	<p>にご署名をいただき、県土整備部長へ持参し要望活動を行いました。その際に、県からその様な署名を受けても、まちづくりと一体で整備をしていきたいという意向もあり、県土整備部長の発言を受けてまちづくりが始まったというところでございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県道の整備がされても、町が賑わっていない所は多々あります。周辺だと岡部駅を例に挙げると、駅前通りは立派に出来ていますがその周りに賑わいがあるかと言うと無い状況となっていて、「そのような町になって良いのか」というのが県の意見でございます。やはりその様なまちづくりではなく、賑わいがあるまちづくり、そういった町が望ましいのではないかとということで、県も「まちづくりと一体で県道整備をしたい」ということなので、ご理解をいただきたいと思えます。</li> </ul>
⑤	<p><b>(ご意見：住民)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほどの説明を受けまして、神保原駅周辺の都市機能を高める計画を進めておりますが、4月には「歩きたくなるまち」国土交通省のウォーカブル推進都市に選定されているようですが、町も都市再生特別措置法に基づいて立地適正化計画の策定や駅北まちづくり協議会が設立されたりしております。駅を中心とした800m圏内のまちづくりの目的はコンパクトシティだと思えますが、その中で今後町は、県道のクランクを直すことも含めて、どこを事業主体にして、何を優先にして整備していくのですか。</li> <li>・ ウォーカブル推進都市の構想は、全員協議会で一回も説明を聞いておりません。上里町の整備についても新聞記事を見て疑問に思いました。途中で色々な計画が混じってきてしまっているので、その辺りの整理をしてもらわないと、いつまで経っても前に進まないと思えます。</li> <li>・ 事業主体は立地適正化計画を基本で実施するのか、駅北まちづくり協議会を発展させたまま実施するのか町はどの様に考えているのか、中長期的な計画を教えてください。我々も少し混乱しているのでよろしくお願いいたします。</li> </ul> <p><b>(回答：事務局)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々な計画があって分かりづらい所がありますので、まず順を追って説明させていただきます。</li> </ul> <p>立地適正化計画はコンパクトシティを進めるための計画となっております。これだけ人口減少や高齢化する中で、将来にわたり持続可能なまちをどうしたら実現出来るのか国の方でも示しており、町をある程度コンパクトにすることで色々な基盤は持続的に維持できるものになっています。立地適正化計画の中で、町としては神保原駅を中心としたコンパクトな町をつくっていくという計画を今年の1月に策定をいたしました。立地適正化計画の方針に基づいて、駅周辺でコンパクトな町をつくるにあたり、駅南側は区画整理事業により基盤整備がされているので、次は駅北口ということで駅北のまちづくりを検討させていただいております。</p> <p>ウォーカブル推進都市は、まちづくりを考える中で「人が歩きたくなるような整備をしていきましょう」というのが「ウォーカブル」という考え方になります。例えば、道路を作るにしても、通常の歩道は2.5mから3.5m程度の幅ですが、例えば5mや6mにすることで沿道にお店を出しやすくなり、人も歩きたくなるような街並みになってくるといったものが「ウォーカブル」という考え方になります。</p> <p>立地適正化計画、駅北まちづくり、ウォーカブルというのは、全て同じ方向を向いて繋がっておりますので、その点は分かりづらくて申し訳ありませんが、今現在、町が進めているのは、駅北のまちづくりで「ウォーカブル」になりますのでその様にご理解いただければと思えます。</p>

(回答：町長)

- ⑤
- ・まちづくりの例で夕張市のお話をさせていただきます。夕張市は昔、炭鉱の町で一時は人口が10万人だったのですが、議会で視察に行ったときは人口が1万人を切るくらい市になっておりました。
  - ・駅周辺に人を集めて、上下水などのインフラを全部網羅して整備しても、国としても補助が出来ず人口が減少していく中で、コンパクトシティは駅周辺に、出来るだけ集めて、インフラ整備をして集めていくという方向で国の方針が大きく舵をきっていきました。上里町も国の補助金を活用しながらまちづくりを進めていかないと、町も余裕がある訳ではないので、出来るだけ国や県の補助を活用して、駅前通りは県道なので県で主体的に整備を実施してもらい、土地の先行取得は町が代行して実施するなどの役割分担をしっかりと明確にして今後進めていくことによって、町への負担もなく、国の補助金を活用して実施していきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。